

令和6年度第2回ピースツーリズム推進懇談会

HIROSHIMA
PEACE TOURISM

令和7年（2025年）2月27日

目 次

1 令和6年度下期の取組	 3
2 令和7年度の取組（予定）	13
3 その他平和に関わる本市の事業についての情報共有	14
4 意見交換	15

(1) 情報発信の強化

- ① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信（P4）
- ② SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施（P5～P7）
- ③ PR動画の活用（P8）

(2) 市民・民間との協働体制の構築

- ① 「ピースおこ」プロジェクトとの連携（P9）

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

- ① 体験型周遊イベント「ピースパズル」の実施（P10）

(4) 被爆80周年記念事業（P11）

- ① 情報発信の強化（リーフレットの更新（英語版））
- ② 「広島・長崎連携観光キャンペーン事業」との連携

(1) 情報発信の強化

- ① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信
WEBサイトのアクセス数とInstagramのフォロワー数

令和6年(2024年)4月～
令和7年(2025年)1月

■ WEBサイトのアクセス数

○アクセス数:平均(月間) 14,740件

令和5年(2023年)度同時期平均(月間)の12,396件から**約1.2倍増**

R6(2024)年4月～R7(2025)年1月	R6(2024)年4月～R7(2025)年1月平均(月間)
147,400件	14,740件

■ Instagramのフォロワー数

○フォロワー数: 12,930人(令和7年(2025年)1月末現在) 前年同月末の8,403人から**約1.5倍増**



②SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施 あなたのピースなフォトコンテストの結果報告

令和6年(2024年)7月～11月

令和2年(2020年)度から、できるだけ多くの人に「ピースツーリズム」を知ってもらおうきっかけとしてSNSを活用したユーザー投稿型のフォトコンテストを実施している。5回目となる今回は、4,119件の応募があった。

- 応募期間：令和6年(2024年)7月5日～10月5日まで
- 応募テーマ：「#ピーススポット2024」広島広域都市圏内の「平和」に関わるスポットの写真
「#ピースデイズ2024」普段の生活の中で心の「平和」を感じる写真
- 結果発表：令和6年(2024年)11月



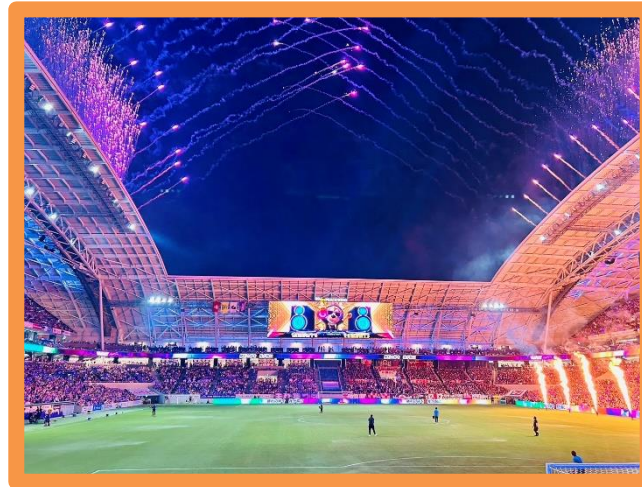
(上：入賞作品はこちら)

(左：フォトコンテストのイメージ画像)

特選 (1名)

準特選 (2名)

ピーススポット2024入賞作品



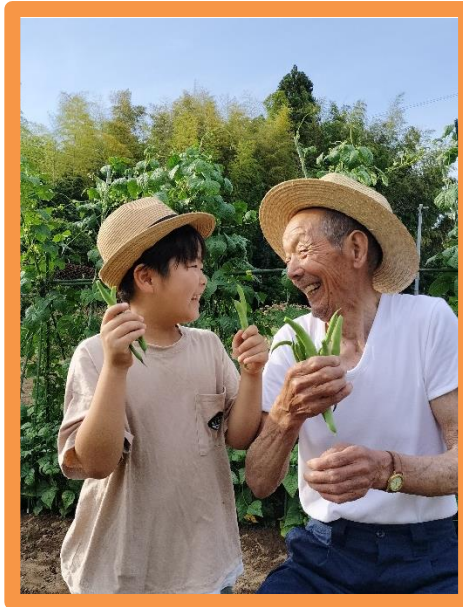
入選 (5名)



特選 (1名)

準特選 (2名)

ピースデイズ2024入賞作品



入選 (5名)

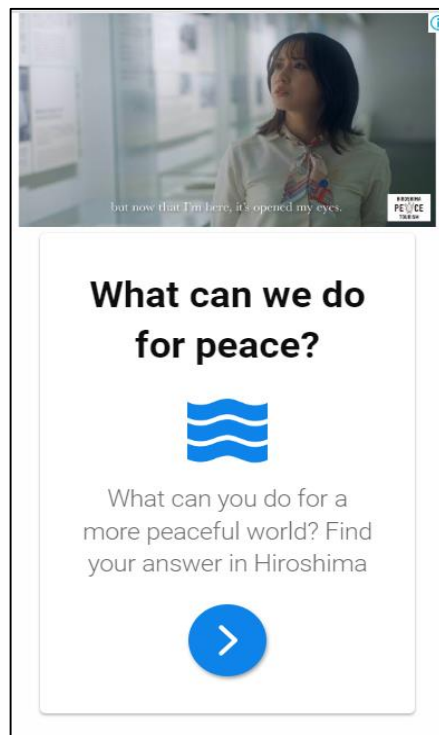
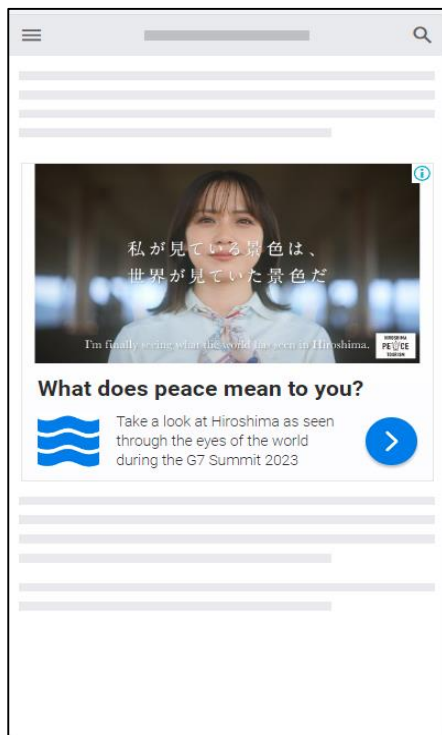


③ PR動画の活用

G7広島サミットの開催を契機に作成したピースツーリズムPR動画を活用し、インターネット広告やデジタルサイネージ等での情報発信を行った。

インターネット広告

広島ピースツーリズムの認知度を向上させるため、インターネットを活用した広告を実施し、広く広報を行うことで、ウェブサイトのアクセス数を向上させ、来広者の平和関連施設の周遊促進を図った。



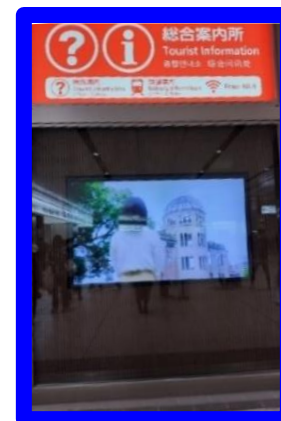
(広告イメージ)

デジタルサイネージによる 情報発信

広島駅南口地下広場



広島駅観光案内所



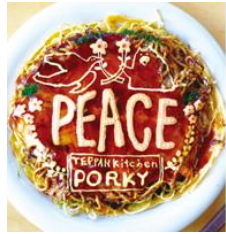
広島港



(2) 市民・民間との協働体制の構築

① 「ピースおこ」プロジェクトとの連携 お好み焼に平和へのメッセージを描き、世界に届ける取組

令和6年(2024年) 8月～11月



開催期間：令和6年(2024年)8月1日～8月15日

主 催：一般財団法人お好み焼アカデミー

参加方法：

- ① 参加店舗にて、注文したお好み焼にマヨネーズ等で「ピースおこ」を描き、「#peaceoko」を付けてSNSに投稿。
- ② 参加店舗にて、メッセージカードに平和への思いを描く



「ピースおこ」の写真とあわせて市民平和文化イベントで展示



開催日：令和6年(2024年)11月3日

主 催：広島市、
(公財) 広島平和文化センター

会 場：紙屋町シャレオ

応募数：523枚

(左：「ピースおこ」プロジェクトに寄せられた
メッセージ)

広島ピースツーリズム Instagram



令和6年(2024年)8月2日
投稿。514件の「いいね！」を
獲得 (令和7年(2025年)
2月13日時点)

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

令和6年(2024年)8月～12月

① 体験型周遊イベント「ピースパズル」の実施

広島市内の主要な平和関連施設等を巡るピースツーリズムをより活性化するため、潜在的ターゲット層である20代などの若い年齢層を対象に、平和をテーマとして活動している各種団体等と連携しながら、市内の平和関連施設等を巡り平和を考える体験型周遊イベント等を開催し、ピースツーリズムの情報発信の強化を図るとともに、参加者自らが平和とは何かを考え、平和への思いを共有できる環境づくりを行った。

平和学習デジタルスタンプラリーを活用した体験型周遊イベント

ピースパズル



「知らない」を、知る。
広島のまちに点在する
ピーススポットを巡る
デジタルスタンプラリー

【開催場所】

広島平和記念公園、
広島市内の平和関連施設等

【参加者数】

534人

【内訳】

○修学旅行生向けプログラム 226人

○企業・団体向けプログラム 8人

○インバウンド向けプログラム 5人

○平和文化月間イベント 245人

- 主催

広島市

(公財) 広島平和文化センター

- ・開催期間

令和6年(2024年)11月1日～11月30日

○ピースパズル体験ツアー 50人



ピースパズル体験ツアーの様子

コンテンツの作成に関わった団体

第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展、NPO法人PeaceCultureVillage、Sokoiko！Cycling tours（株式会社者mint）、広島女学院高校生有志、一般社団法人Hello Hiroshima

(4) 被爆80周年記念事業

令和6年(2024年)10月～

① 情報発信の強化（リーフレットの更新（英語版））

被爆80周年に向けて、ピースツーリズムの周遊ルート等を紹介するリーフレット（英語版）を日本語版にあわせて更新し、増刷した。（各10,000部）



② 「広島・長崎連携観光キャンペーン事業」との連携

■ 平和記念資料館来館者へのP R

広島平和記念資料館及び長崎原爆資料館への来館者を対象に、資料館内において、相互に各市への訪問を促す宣伝物として、パネル等の展示を行った。また、両市のSNSをフォローしていただいた方へ、被爆80周年に関連するノベルティの配布を行い、平和関連施設等の周遊を促した。

配布場所：広島市平和記念公園レストハウス、袋町小学校平和資料館、本川小学校平和資料館

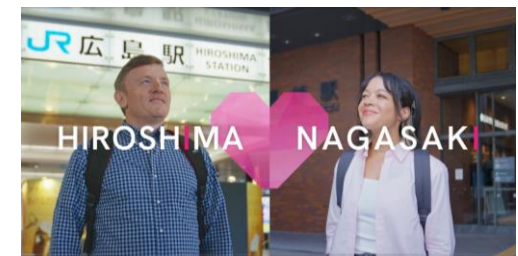


ピースツーリズムInstagramでの同事業のP R投稿

■ 広島市・長崎市共同による国外への観光プロモーション

・ SNS等を活用した情報発信

平和へのメッセージや両市の平和関連施設、被爆80周年等を題材に動画（多言語字幕）を作製し、SNS等を活用して国外に向けた情報発信に取り組む同事業と連携し、ピースツーリズムInstagramでもP R動画の情報発信を行った。



広島・長崎連携観光キャンペーン事業
P R動画

質疑応答

(1) 情報発信の強化

- ① W E Bサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信
- ② S N Sを利用した参加型キャンペーン「フォトコンテスト」の実施
- ③ インターネット広告

(2) 市民・民間との協働体制の構築

- ・「ピースおこ」プロジェクトとの連携

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

- ・ 体験型周遊イベントの開催

(4) 被爆80周年記念事業

国内外の来訪者の市内での周遊を促進するため、主要な平和関連施設等を巡る「ピースツーリズム」について、情報発信の強化や体験型周遊イベントを実施する。

① 情報発信の強化

- ・ ピーすくるを活用した情報発信
- ・ モニターツアーの実施（メディア等）による情報発信
- ・ P R動画を活用した発信（街中の大型ビジョン等）

② 体験型周遊イベントの開催

3 その他平和に関わる市の事業について の情報共有

(1) 平和記念資料館の入館者数等の状況について

参考資料1

参考資料2

(2) その他

意見交換

令和6年度第1回ピースツーリズム推進懇談会での意見

項目	意見	取組（予定）
情 報 発 信	・映像や写真を使った情報発信の強化 ・被爆の実相、復興の過程等に係る情報提供 ・平和関連イベント等を告知 ・メディアや若手研究者に対するアプローチ ・二次元コードを活用した情報発信	・ピースツーリズムPR動画やフォトコンテスト受賞作品の活用 ・ピースツーリズムホームページでの情報発信の充実 ・ホームページやSNSでの平和関連イベント等を告知 ・リーフレット等での二次元コードの活用
コンテンツの充実	・回遊性を高めるための仕掛けづくり	・平和関連施設等を紹介するマップの活用、周遊イベントを活用した回遊性向上
環 境 整 備	・平和記念資料館の混雑緩和 ・平和記念資料館の展示の充実（こども向け） ・平和関連施設等へのアクセス改善 ・市民と来訪者との接点の場の創設	・平和記念資料館の開館延長 ・平和記念資料館の展示の充実 ・体験型周遊イベント等を通して、来訪者との接点の場の創設を図る。
そ の 他	・来訪者へのアンケートの実施 ・平和記念資料館と現代美術館等との連携（共通割引券など）	・体験型周遊イベント参加者へのアンケートの実施